

令和 6 年度の主要実施事業報告

(1) 京丹後市文化財保存活用基金 [基本方針 1-2-6]

京丹後市文化財保存活用基金から市指定文化財等補助金に 2,000 千円繰入し、補助金交付額の拡充をはかる。

京丹後市文化財保存活用基金 (令和 5 年 9 月 15 日付設置)

ふるさと応援寄附金	令和 6 年 6 月末実績	: 3,931,000 円 (321 件)
	令和 5 年度実績	: 24,585,000 円 (1,022 件)
市一般財源積立	令和 5 年度 9 月補正	: 10,000,000 円
その他 (利子)	令和 5 年度末	: 862 円

基金合計 38,516,862 円 (令和 6 年 6 月末現在)



(2) 京丹後市市民遺産制度 [基本方針 1-5-24]

令和 6 年 4 月 1 日から公募を開始しており、「京丹後市市民遺産」の認定を目指す。

令和 6 年度認定目標件数: 10 件



(3) 網野銚子山古墳整備事業 [資料 4] [関連文化財群 2-1-3]

令和 6 年度末に整備完了、令和 7 年 4 月には史跡オープンする。令和 7 年 4 月 26 日 (土) にオープニングイベントを実施予定。



(4) 京丹後歴史文化めぐりマップ [基本方針 1-3-11]

令和 6 年 3 月にリリースした「京丹後歴史文化めぐりマップ」を活用し、市内史跡等を周遊するスタンプラリーを実施する (11-12 月予定)。参加者には記念品としてオリジナル「網野銚子山御墳印」をプレゼント予定。また、サイト内の公開スポットやおすすめコースを追加し、充実を図る。





(5) 府大 ACTR・高龍小連携 [基本方針 1-5-26、関連文化財群 2-1-6]

令和6年度京都府立大学地域貢献型特別研究（通称：府大 ACTR）が採択され、湯舟坂2号墳プロジェクトにおいて、市教委・府大・須田区が協力し、須田平野古墳の発掘調査等を実施する。あわせて、高龍小学校との連携授業を実施し、5年生が総合的な学習の時間において須田平野古墳の発掘調査を体験する。

(6) (仮称) 丹後震災記念館耐震化・利活用検討事業 資料5

[関連文化財群 1-3-2]



丹後震災から100年を迎えるにあたり、丹後震災記念館の耐震化や新たな利活用について検討を進める。広く市民の意見を徴取するためパブリックミーティングを開催するとともに、活用方法等について検討するプロジェクトチームを設立する。